



発行日/2018年4月20日

編集・発行/堺市立健康福祉プラザ

視覚・聴覚障害者センター

聴覚障害者情報提供施設

〒590-0808 堺区旭ヶ丘中町4-3-1

Tel:072-275-5024 Fax:072-243-2222

Mail:mimi@sakai-kfp.info

みみよい

36

【あいさつ】

施設長 井澤 昭夫

日頃は視覚・聴覚障害者センターの業務にご協力いただきありがとうございます。おかげさまでもちまして、センターは開所7年目を迎えることができました。

昨年4月に堺市手話言語・コミュニケーション条例が施行されました。条例では、手話の啓発と手話を含めた様々なコミュニケーション手段の多面的な活用が促されています。現在のところは、市長定例会見ビデオへの字幕と手話通訳の付与、市民向け手話講座の開催、イベントなどを実施してきました。今後も引き続き、利用しやすい制度の充実、効果的な手話学習機会の確保など、聴覚障害者自身、支援者自身の生活や活動しやすい環境の整備に取り組んでいきたいと思えます。今年度も皆様の変わらぬご協力、ご支援をよろしくお願ひします。



保護者学習会を開催しました

3月3日(土)、「みんなで遊ぼう!語るう!」をテーマに「聞こえにくい・聞こえない子の保護者学習会」を開催しました。近畿ろう学生懇談会、大阪府立大学手話サークル亜飛夢の学生さんにもご協力いただき、子どもたちは元気に楽しく遊び

ました。

また、保護者座談会では、ろう学生の体験談も聞くことができ、「たくさんの希望をもらえた」、「手話が大切だとわかった」など、うれしい言葉をいただきました。

「わかる!」、「わからない!」と思いつきり言える場所、「ひとりぼっちじゃない」と感じられる場所、保護者学習会が「明日からのエネルギーをもらえる場所」になれたらいいなと思います。

あいさつ手話じゃんけんをやったよ!
「最初はグー、ジャンケンポン!」
「グーが勝ったから、グーでおはよう!」
「私の名前は〇〇です」
キラキラの「なまえメダル」に名前を書いてもらうのがうれしくて、どんどん手話で自己紹介したよ!



「いっぼんばし わたろ」うまく渡れたよ!



筆談しながら相談したよ!
「何する?大玉ドッジボール?鬼ごっこ?」「次はこれしたい!」
ひとつの遊びを決めるのに時間がかかったけれど、「一緒に考えて、悩むことができる時間っていいね!」

「ろく」あるある 子育て編

聞こえる子の育児に奮闘するろうパパ・ママあるある

- ・口の形が似ている「パパ」と「ママ」の区別
- ・「パパ」は唾がとぶ。
- ・ベビーセンサーは泣き声より叫び声にすぐ反応する。
- ・インターホンは機械より子どものほうがすぐに反応してくれる。
- ・きこえない親を呼ぶときは手や足でバンバンと音をたてる。

親も子どもも工夫しながら成長していくんですね!



「みみサロン」を開催しました

3月17日(土)、絵てがみ文化種蒔人(ぶんかたねまきにん)の新村千代子先生をお招きし、「はじめての絵てがみ教室」を開催しました。

初めて体験する方がほとんどでしたが、OHCを使って、描き始めのポイント、色の付け方などをわかりやすく教えてくださったので、「なるほど、なるほど！」と参加者の目が釘付けになりました。

線描きは筆ではなく、割りばしを使います。最初は「えー、割りばしなんかでできるの!?!」との反応でしたが、持ち方や角度、スピードによって、細い、太い、うすい、濃いなど、色々な線が描けることが描くほどに実感され、みなさん線描きの練習に夢中になりました。



さて、次は絵てがみ制作本番! ここでも「下書きはく!?!」と、みなさん不安…。でも、いざ描き始めてみると、なんと趣のある、素敵な絵が描けているではありませんか! 「へたでいいい、へたがいい」が絵てがみの合言葉。「失敗した!」と思う絵も、工夫次第で味深いものに変わる。下書きなしだからこそ、想像もしなかった構図になる。伝えたいことをすんなりと描ける。下書きをしない良さもわかり、みなさん素敵な作品を仕上げました。最後は一人ずつ、自分の描



みんなの作品展



いた絵てがみを見せて発表。同じモデルを見て描いていても一人ひとりの世界観が違うことが伝わってきます。はがきの中に込められた絵や短い言葉から、その人が伝えたいことを想像できる絵手紙。とても素敵だなと思いました。

「もしサロン」を開催しました!

☆わいわいおしゃべり会

2月17日(土)、神戸でお喋り会を開催しておられる大坪健二さんを講師に開催しました。9名の方が参加してくださいました。

「パソコン要約筆記」は、他の参加者さんの表情を見ながら通訳の文字が読めるように工夫。口の字型にし



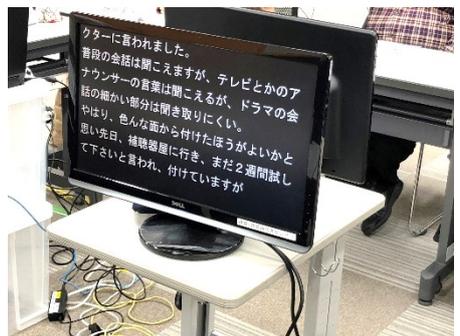
たテーブルの内側に計4台のパソコンを設置し、文字が読めるようにしました。

自己紹介のあと、補聴器購入についての話では、補聴器装用のベテランさん・補聴器お試し一週間目・人工内耳装用・ヒアリングループ初めて体験者・集音器使用といろんな方が集まったので、聞こえの保障情報で盛り上がりまりました。他に、わいわいおしゃべり会への参加理由や参加者さんが運営しているカフェのご紹介きこえ支援協会の行事紹介などなど…ゆっくり会話を楽しみました。

☆筆談会

1月11日(木)、3月8日(木)ともに3名参加。筆談会は、自分で書いて相手に伝える方法で会話を楽しみます。「書く」ことは大変ですが、「聞く」努力の必要がないので、楽な気分に参加できます。3月の筆談会では、書いたものをスクリーンで映し、みんなで見る方法も試してみました。オリピックの放映で感動したことや、カーリングの会話が聞こえたら…。「そだね」のイントネーションはどうなんだろう? など。聞こえにくいならではの話もありました。

次は5月10日(木)14時~16時に開催します。お申し込み不要です。お待ちしております。



センター事業のご紹介

身体障害者手帳が取得できない方も利用できます。

開所から6年。2012年当初と比べ、事業の充実・拡大に努めてきました。

改めて、今年度の事業をご紹介します。お申込み・お問い合わせは視覚・聴覚障害者センターへ。

〔字幕・手話入りDVDの貸出 製作〕

- ・字幕付きの映画やドラマ、情報番組などのDVDを無料で貸し出しています。
- ・子どもたちが大好きな戦隊もの。字幕製作グループ「さくら」のご協力をいただき、字幕付きDVDを製作しています。
- ・堺市長定例会見に手話通訳・字幕を付与し、映像制作しています。市・センターのホームページやYouTubeでご覧いただけます。

〔手話や要約筆記を学ぶ講座〕

- ・手話を初めて学ぶ方に：手話講習会 水曜日午後・夜、金曜日午後・夜の4コースです。
- ・手話で自己紹介ができる方に：手話レベルアップ講座 火曜日夜、金曜日午前の2コースです。
- ・手話通訳者をを目指す方に：手話通訳者養成講座 3年間の講座です。受講試験があります。
- ・難聴の方へのサポートをしたい方に：要約筆記者養成講座 水曜日午後、25回の講座です。

〔聞こえない・聞こえにくい方へのサポート〕

- ・各種の相談：生活、仕事、教育など、さまざまにご相談に応じます。
- ・手話通訳者、要約筆記者の派遣
病院、子どもの学校、役所での手続き等に行くとき、堺市に登録している通訳者が同行します。
- ・相談会、交流会
「みみサロン」奇数月の第3土曜日の午後、交流会や講演会を開催しています。
「もじサロン」聞こえない・聞こえにくい方同士が文字情報を使って交流する会です。
「聞こえのセミナー」聞こえに関する情報を、体験会や講演会でお届けしています。
「補聴器相談」補聴器の相談はもちろん、他の補聴機器の体験ができます。
「ろう・難聴児向け行事」夏休みにクッキングや工作教室を開催しています。
「ろう・難聴児保護者学習会」子どもの言語・心理等の学習会、交流会を開催しています。
「難聴者のためのコミュニケーション教室」いろいろなコミュニケーション方法を学びます。
- ・機器の貸出：テレビの音や会話を聞き取りやすくする機器、筆談ボードなどを貸出しています。

職員体制が変わりました

長くアルバイト職員として勤めてくださった宮崎真佐子さん、柴田共子さんが3月末で退職されました。また、産休代替職員の川崎泰子さんも、3月末をもって任期満了となりました。お疲れさまでした。

新たな仲間のご紹介

山口 有貴子

4月から採用されました山口有貴子と申します。個人派遣を担当しています。堺市在住ではありませんが、5年前から堺の手話通訳者として登録し、堺の手話サークルにも加入させていただいていましたので、利用者、支援者ともに面識のある方々がおられて、心強く感じています。

堺の聴覚障害者の方々が、安心して情報保障を受けられ、手話通訳や要約筆記の支援者も生き生きと気持ちよく活動できるように、しっかりとコーディネーターの役割を果たしていきたいと思っています。慣れない業務で、まだまだ至らない点もあるかと思いますが、どうぞよろしく願います。

復帰のごあいさつ

阿部 智美

川崎さんからバトンタッチ、4月から復職いたしました。今年度から職員の体制も変わり、みなさまとのコミュニケーションの強化を図りたいと思っています。

お気軽に「手話べり」や「筆談」をしにお越しくださいませ♪お待ちしております。

手話奉仕員・通訳者養成講座

手話通訳者養成講座 基本課程

手話通訳者養成講座が5月から、手話奉仕員養成講座が6月から各々始まります。受講生募集は各々4月、5月の広報で順次始まります。今年度は特に手話通訳者養成講座の受講生がなかなか集まりませんでした。受講者数が少ないのは受講生にとっては良いことかもしれませんが、せつかくの講座ですので、皆さんのお近くのサークルの仲間にも呼びかけをお願いします。

要約筆記者養成講座

講座受講生を募集しています

要約筆記は、手話をご存知ない難聴の方々には欠かせないサポート。そして、障害者手帳が取得できない軽度の難聴の方にも、便利に使っていただけるツールです。

講座の募集締め切りは、4月27日です。関心のある方はお問い合わせください！

センターの行事

5月10日(木) 14:00~16:00

「もじサロン」 ※申込不要
筆談会の部

5月11日(金) 13:30~16:30

「補聴器相談」 ※予約制

5月19日(土) 14:00~16:00

「みみサロン」 ※事前申込み
きこえない世界で輝く私

～

5月23日(水) 14:00~16:00

「聞こえのセミナー」 ※事前申込
UDトークのお話

6月 8日(金) 13:30~16:30

「補聴器相談」 ※予約制

6月16日(土) 14:00~16:00

「保護者学習会」 ※事前申込
人工内耳と手話

毎週木曜日 12:30~12:45

ミニ手話講習会「手話っぴい」

ビデオライブラリーのおすすめ

「東京タラレバ娘 1~10」

鎌田倫子は30歳。独身・彼氏なしの売れない脚本家です。高校時代からの親友の小雪と香の3人で、小雪の父の経営する居酒屋「呑んべえ」で女子会をするのが唯一の楽しみ。東京を舞台に、アラサー女性の恋と仕事を描いています。

「おもひでぽろぽろ」

1982年の夏、27歳の岡島タエ子は休暇を取って、山形の親戚の家に滞在させてもらうことになりました。子どもころから田舎に憧れていたタエ子。山形に向かう寝台特急の中で、突然小学5年生の自分が蘇ります。

山形での滞在中も時々顔を出す5年生の自分。そんな思い出とともに過ごしていくタエ子は、しだいに親戚のトシオの影響で農家の暮らしに魅力を感じるようになっていきます。

頑張っています 手話通訳・要約筆記登録者

実施済

手話通訳者研修会

登録者合同研修会 3/31「堺市言語条例施行1年」

新規登録者研修会 4/25・5/11

新規登録要約筆記者実技研修会 4/27(手書)・5/16(PC)

要約筆記者研修会(手書) 5/30「ノートテイク」

登録者合同研修会 6/23「日本語ブラッシュアップ」

事業状況

		手話通訳		要約筆記		ライブラリー	
		個人	講演	個人	講演	利用者数	貸出数
2月	派遣数	241件	10件	9件	10件	29人	64本
	派遣人数	261人	23人	16人	39人	新規登録者：6人	
3月	派遣数	260件	20件	15件	14件	9人	37本
	派遣人数	294人	40人	32人	52人	新規登録者：0人	

ご協力
ありがとうございました

